

## 平成20年度文化環境部予算見積総括表

### 一般会計

平成20年度予算見積額	2,725,358 千円
平成19年度当初予算額	2,744,765 千円
差引増減額	△ 19,407 千円
対前年度比率	99.3 %

※人件費(一般職給与費)を除く

### 土地取得特別会計

平成20年度予算見積額	1,127 千円
平成19年度当初予算額	1,183 千円
差引増減額	△ 56 千円
対前年度比率	95.3 %

# 文化環境部施策体系表(H20)

## 高知の特性を活かした環境先進県を目指す

豊かな自然と共生する持続可能な低炭素・循環型社会づくり

地域からの温暖化の防止

(新) 地球温暖化対策推進事業費  
環境活動支援センター事業費  
豊かな環境づくり総合支援事業費  
協働の森づくり事業費

自然環境との共生

希少動植物保護対策事業費  
牧野植物園第二期整備事業費  
牧野植物園開園50周年記念花・人・土佐であい博連携事業費

清流の保全

四万十川条例推進事業費

廃棄物の適正処理の推進

エコサイクルセンター設置推進事業費

生活環境の保全と循環資源の利用の促進

環境保全事業費

## 高知らしい文化のあふれる県を目指す

県民の文化的、国際的な感性を育む社会づくり

文化の振興

山内家歴史資料管理費  
(新) 県民文化ホール改修事業費

国際交流の推進

(新) ブラジル移住100周年記念等関連事業費  
渡航事務費

## 県民が生き生きと暮らせる県を目指す

男女がともに支え、安全で安心して暮らせる社会づくり

消費生活の安定と向上

消費者行政推進事業費

安全で安心なまちづくりの推進

安全安心まちづくり推進事業費

男女共同参画の推進

女性相談所費  
DV被害者支援事業費

NPO活動の促進

高知県社会貢献活動拠点センター運営事業費  
NPOと行政との協働推進事業費

# 平成20年度文化環境部予算見積りの概要

新は平成20年度新規事業

アはアウトソーシング事業

( )内は ( H19当初予算額 → H20予算見積額 )

## 高知の特性を活かした環境先進県を目指す

### 豊かな自然と共生する持続可能な低炭素・循環型社会づくり

#### (地域からの温暖化の防止)

##### ①新地球温暖化対策推進事業費 ( 698千円 → 3,676千円 )

平成19年度に改定する高知県地球温暖化対策地域推進計画に基づき、県民や事業者と連携・協働して、CO<sub>2</sub>削減を数値で評価するエコポイント制度や小規模な事業所の新エネルギーの導入計画などの地球温暖化防止活動に取り組む。

##### ②ア環境活動支援センター事業費 ( 26,810千円 → 49,556千円 )

これまでの県民の環境活動に対する支援や環境学習の推進拠点としての環境活動支援センターの機能に加え、地球温暖化防止活動推進センターとして地球温暖化対策県民会議(仮称)を組織し、県民運動を推進するなど、民生分野の取り組みの中核的な機能を担う事業をNPO法人に委託して実施する。

併せて、四国銀行からの寄付金について「絆の森」環境活動応援補助金(仮称)として、県内のNPOの環境に関する地域活動に対し支援する。

##### ③豊かな環境づくり総合支援事業費 ( 12,555千円 → 22,000千円 )

環境の保全と創造に関する地域の課題を解決するために、市町村等が実施する事業について総合的に支援を行う。

併せて、森林環境税を財源として、NPOが実施する山川海の連携や交流など県民の主体的な活動を支援する事業に対し助成を行う。

##### ④協働の森づくり事業費 ( 4,720千円 → 3,441千円 )

温室効果ガスの削減に関心の高い企業を対象として、森林の二酸化炭素の吸収機能に着目した森づくりに協力してもらうための企画立案と活動を行う。

#### (自然環境との共生)

##### ⑤希少動植物保護対策事業費 ( 4,554千円 → 6,462千円 )

平成18年7月に施行された希少野生動植物保護条例に基づき、県指定種の保護区の検討等を行うとともに、うみがめ保護条例に基づくうみがめ保護区の管理等を行う。

併せて、森林環境税を財源として、ニホンジカの食害による希少野生植物への影響を調査のうえ、緊急に対策が必要な種の保護を行い、生物多様性の保全を図る。

**⑥牧野植物園第二期整備事業費（ 117,606 千円 → 50,878 千円 ）**

研究型植物園を目指した牧野植物園第二期整備事業を実施し、企業等との共同研究や製品開発などによる植物産業の振興を図る。

併せて、観光や憩いの場としての機能等の充実に努める。

**⑦牧野植物園開園 50 周年記念花・人・土佐であい博連携事業費（237,739 千円→108,695 千円）**

花・人・土佐であい博の春のシーズンを飾る中心的な催しとして、牧野植物園の開園 50 周年を記念する事業「五台山花絵巻」を実施する。また、ジャパンフラワーフェスティバルと連携することで、花・人・土佐であい博への関心や機運を高める。

**（清流の保全）**

**⑧四万十川条例推進事業費（ 5,601 千円 → 5,121 千円 ）**

四万十川条例に基づき重点地域として指定した区域内での開発行為等にかかる許可制度の運用などを通して、生態系や景観、生活文化財産の保全を図るとともに、流域が持続的に発展していくことを目指した流域振興ビジョンの策定に取り組む。

**（廃棄物の適正処理の推進）**

**⑨エコサイクルセンター設置推進事業費（ 308,112 千円 → 664,971 千円 ）**

財団法人エコサイクル高知が設置する産業廃棄物処理施設の整備に必要な経費を助成するとともに、日高村の振興に必要な経費を交付する。

**（生活環境の保全と循環資源の利用の促進）**

**⑩環境保全事業費（ 61,053 千円 → 78,244 千円）**

環境法令や公害防止条例等に基づき、環境監視、排出規制や情報提供などを行う。

## 高知らしい文化のあふれる県を目指す

### 県民の文化的、国際的な感性を育む社会づくり

**（文化の振興）**

**⑪山内家歴史資料管理費（ 86,217 千円 → 89,429 千円 ）**

県民共有の文化財産である山内家資料を適切に保存、活用するため、（財）土佐山内家宝物資料館に対し必要な経費の助成を行う。特に、保存環境の向上を図るとともに、資料の調査・修復を進める。

**⑫新県民文化ホール改修事業費（ 0 千円 → 26,361 千円 ）**

建設後 31 年が経過した県民文化ホールについて、老朽化した設備の改修及び耐震補強のための工事に向け実施設計（追加工事分等）を行う。

**（国際交流の推進）**

**⑬新ブラジル移住 100 周年記念等関連事業費（ 0 千円 → 5,996 千円）**

ブラジルへの日本人移住 100 周年を記念して行われる現地での記念大会に参加するとともに、母県である高知県で記念の大会を開催する。

⑭渡航事務費（ 13,703 千円 → 16,822 千円）（一部の事業ア）

旅券法等に基づく一般旅券の発給について、窓口業務等業務の一部をアウトソーシングし、併せて交付時間の拡大などサービスの向上を図る。

## 県民が生き生きと暮らせる県を目指す

### 男女がともに支え、安全で安心して暮らせる社会づくり

#### （消費生活の安定と向上）

⑮消費者行政推進事業費（ 4,962 千円 → 5,274 千円）

消費者が主体的・合理的に行動できるように情報提供や啓発を行うとともに、市町村や関係機関との緊密な連携のもと、多重債務者対策を推進する。

#### （安全で安心なまちづくりの推進）

⑯安全安心まちづくり推進事業費（ 2,063 千円 → 2,050 千円 ）

安全安心まちづくり条例に基づき、事業者団体や地域活動団体と行政等が一体となって組織する安全安心まちづくり推進会議（仮称）を中心に県民運動を進めるとともに、県民の防犯意識を高めるための広報、啓発活動を行う。

#### （男女共同参画の推進）

⑰女性相談所費（ 32,239 千円 → 32,751 千円 ）（一部の事業ア）

平成 20 年 3 月に完成する新施設「女性相談支援センター（仮称）」において、悩みを抱える女性の相談から緊急保護、さらには自立支援までを一体的に行う。

⑱DV被害者支援事業費（ 6,873 千円 → 7,363 千円 ）

DV被害者の自立に向けた取組を進めるため、関係機関のネットワーク会議を活用し、総合的な支援体制を整える。また、民間支援団体が運営する民間シェルターに対して助成を行う。

#### （NPO活動の促進）

⑲高知県社会貢献活動拠点センター運営事業費（ 18,942 千円 → 18,307 千円 ）

県民の「自立」と「協働」による地域社会づくりの実現に向け、自主的・自発的な活動を行うNPOを支援し活性化を図るため、高知県ボランティア・NPOセンターの取組に助成を行う。

⑳NPOと行政との協働推進事業費（ 4,215 千円 → 3,182 千円 ）

NPOと行政との協働を推進するため、NPOからの企画提案を、関係課室とNPOとで協議検討を行い、事業化を図る。また、県政上の具体的な課題についてNPOと行政とが意見交換する場を設け、相互理解を深めながら、具体的な連携につなげる。